

だんだん便り

第17号

2019年3月10日

一般社団法人だんだん会

408-0035 山梨県北杜市長坂町夏秋 918-5

- ・法人本部 0551-45-9566
- ・地域看護センターあんあん 0551-30-7505
- ・定期巡回てくてく24 0551-30-7787
- ・オレンジサロンわいわい白州・長坂 0551-45-9566

-
- ・グループホームわいわい白州 0551-30-7566

408-0315 山梨県北杜市白州町白須 1023



山里 香る

橋のたもとに降り立つと 梅の香りが谷かぜにのせて漂ってきます
待ちわびた春がやってきました
野にも山にも 風にのって

写真・文 茅野市 小山 茂

グループホームわいわい白州（摩利支天）

摩利支天 ユニット長 近藤 浩

エルニーニョ現象の影響でしょうか、2月は昨年より暖かい日が多かったですね＊

冬將軍様にはお帰りいただきましたが、「福の神様には是非来ていただきたい！」

ということで今年も節分の豆まきを行ないました！

まずは恵方巻で腹ごしらえ
(食べやすく切りました(^_^;))



玄関で「鬼は～外！ 福は～内！」



ベランダでも



インフルエンザも「さようなら～！」
(感染者0名でした＼(^o^)/)



オレンジサロンわいわい白州・長坂・こぶち



オレンジサロンわいわい白州・長坂・こぶち

オレンジサロンわいわい白州

「恵方巻」最近よく聞かれますが、この北杜の田舎ではなじみがないのです。「巻き寿司（寿司を巻く）」は祝い事やもてなしによく作ってきました。

節分を機に「恵方巻」にならって「巻きずし」に挑戦です。男性もチャレンジしましたよ。

今日のお昼ごはんになりました！



芯は、かんぴょう・厚焼き玉子・
キュウリに漬物、そしておぼろ
手慣れたもんです！

オレンジサロンわいわいこぶち

和紙を使って、短時間でできる「おひな様」に手と口を動かしながら、親王様のお顔をそれぞれの思いで描いて、可愛いおひな様ができました。

日々の暮らしの中での出来事を語り、聞き、笑い・・・思い出したり想像したり。仲間や人との交流は、思いっきり心と頭が動きます。



可愛い小さな「おひな様」作成中。

オレンジサロンわいわい長坂

一曲千円！



流しのギターと歌好きなお客さん・・・ 思い出すなあ

ギターの伴奏で「懐かしのメロデー」を歌っています。

こんな曲初めて・・・ということもまた、当時の記憶や思い出が甦ることしばしば・・・

楽しいひと時です。



わがままハウス山吹

建物が完成しました！！

2月末に建物が完成しました！！ 床暖房、スプリンクラー、各部屋への寒冷地用エアコン、エレベーター、段差昇降機、2階の談話コーナーなどの設置、トイレ・浴室・台所・リビング・多目的ホールなどの改築で快適に生活できそうに出来上がりました。看板もつけました。



看板



玄関



リビング



浴室



2階の談話コーナー



階段の踊り場



居室(個室)



居室(個室)



居室(個室)

わがままハウス山吹

★入居案内・・・若干の変更があります

夜間帯の職員体制について、変更します。はじめの案では、『20：00～翌朝8：00は、泊りの職員はいなく、緊急コールに対応して外から駆けつける。職員の宿泊支援については、有料で行います』だったのですが、次のように変更します。

『夜間帯は、当面は保安のための当直を行います。入居者の状況により対応します』

緊急コール対応、見守りのための当直です。（介護ではありません）料金の変更はありません。

★入居希望状況

入居申し込み書をいただいている方は、4名です。（3月6日現在）

ただ、まだ建物を見ていないので、3月中旬以降に内覧していただき、その上で正式の契約となります。

入居相談はいろいろあります。

入居を考えたいという連絡をいただいた方は10名弱です。多様な事情の方々です。実際に建物を見ていただいてゆっくりいっしょに考えさせていただくことにしています。

★遠慮なく内覧を！

予約なしの参加自由の内覧会を下記のように実施しています。どうぞおいでください。この他にも随時、内覧の機会を作りますので、法人本部（0551-45-9566）まで。

第1回：＜内覧＞ 2019年3月11日（月）10:00～16:00

＜説明会＞2019年3月11日（月）13:00～14:00 （詳細な説明をいたします）

第2回：＜内覧＞ 2019年3月17日（日）13:00～16:00

＜説明会＞2019年3月17日（日）14:00～15:00 （詳細な説明をいたします）

第3回：＜内覧＞ 2019年3月31日（日）10:30～12:30

「わがままハウス山吹」開設に伴い、物品の寄付をお願いいたします！

押し入れで眠っているもの、使用しないで場所をとっているものなど、生活用品をぜひお譲りください。
（入居する方が使用するものなので、消耗品は新品同様のものをお願いいたします）

ご寄付いただける方は、まずお電話を！ 0551-45-9566 法人本部まで

わがままハウス山吹

4月から入居が始まる『わがままハウス山吹』ですが、開設記念イベントとして、下記のような講演会・座談会を企画しました。どうぞ参加ください。(申込用紙はホームページから)

会場の関係で、先着 100 名となります。先着順に参加証（はがき）をお送りします。
(定員になり次第、締め切らせていただきます)



末期がんでも老衰でも、一人暮らしで身寄りがなくても

「自宅での最期」を可能にするために

日時： 2019年3月31日（日） 13：00～15：30

場所： スパテイオ小淵沢 （北杜市小淵沢町2968-1）

内容： 講演

「家でお迎えを受けるために必要な知恵」

講師：川越 厚氏（在宅ホスピス医）

座談会 **「本当に家で死ねるの？」**

コーディネーター：福富みずほ氏（きよさと診療所所長）

講師：樋川 牧 （地域看護センターあんあん所長）

：清水雪江さん（アルプス居宅介護支援事業所）

：佐藤彰啓氏（ふるさと情報館代表）

：利用者代表（患者・利用者代表）

10：30～12：30 「わがままハウス山吹」の内覧会です。
お誘いあわせの上、どうぞ現地へ！

お問い合わせ・お申込み先

一般社団法人**だんだん会** TEL 0551-45-9566

URL <http://www.dandankait.com/>

てくてく物語 <その7>

『定期巡回てくてく24』(定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)の活動内容の一端を連載でお伝えしています

「家への退院は無理！！」

⇒「こんなふうに来てくれるなら大丈夫」

脳卒中の再発作で入院

高齢の坂田さんご夫婦(隣に息子さん夫婦が住んでいる)。脳卒中後遺症で半身不随、その上膀胱がんを患っている夫(茂雄さん・88歳)を、認知症の奥様(幸代さん・86歳)が献身的に介護なさっています。往診担当医が幸代さんの認知症が進行し、自分の日常生活も支援が必要な状態(失禁・清潔保持ができない)だということで、地域看護センターあんあんからの訪問看護で支援していました。

ところが、冬のある日、脳卒中の再発作で救急搬送で入院に…。

数日後、退院調整の時期になったのですが、右半身完全麻痺で入院前よりもADL(日常生活動作)が下がった茂雄さんを認知症の幸代さんが家で介護できるかどうか…。

「家への退院は無理です」と

やはり、幸代さんは、「この人を家で介護するのは無理だと思う」と不安そうでした。

さて、どうするか。隣に住んでいる息子さんご夫婦はがんでそう長くはない茂雄さんを、できれば家で看てあげたいと思っていました。

担当の訪問看護師は、「そうであれば、“てくてく24”という一日何回でも訪問して手伝ってくれるサービスを利用してはどうでしょうか。私たちの訪問看護と一体的に動いているので看護師も頻繁にご支援にまいりますよ」と。

「そうはいつでも…」

「お義母さん、いつも来て下さる看護師さんがそう言うてくださるので、利用させていただきましょうよ。それでダメなら別な方法を考えましょう」

一日3回の訪問支援

朝・昼・夕と食事に合わせて一日3回の訪問開始。息子さんの妻が作った食事の支援・排泄支援・口腔ケアなどを実施。幸代さんは、それを見守っていただければよいことになりました。

退院後病状も不安定だったので、介護職はもちろん看護師も頻繁に生活支援に入りました。「あんあん」と「てくてく」の協働です。

幸代さんの顔つきが変わってきた

幸代さんは、退院直後はパニックになったり、おどおどしたりしていましたが、日が経つにつれ、とても素敵な顔つきに変化してきました。

そして、こんなふうにおっしゃいます。

「こんなふう頻繁に来てくれて、いろいろやっていただけるなんて信じられません。ありがとうございます」

「気分が落ち着いてきました。安心して家で見ていきます」

「看護師さんにもこんなふうにしていただければ、入院している必要がないですね」

夫婦の時間を過ごすことができます

夫婦仲がよく、茂雄さんも幸代さんの姿が見えないと、「おーい」と呼び、幸代さんも認知症があらながらも精一杯献身的に介護していました。家族が協力して一生懸命生きていらっしゃることに心温まります。幸代さんがおっしゃったこの言葉が心に残っています。

「てくてくさんが入ることで、夫婦の時間を過ごすことができるようになりました」と。

連携しています！

北杜市全域に出没します

居宅介護支援事業所

北杜市社協 あったかいご東事業所



左より、柏木さん、平井さん、小林さん、伏見さん

居宅介護支援事業所「北杜市社協 あったかいご東事業所」です。

当事業所には北杜市の現状と同じく「高齢化率が高い」という問題がありますが、健康寿命も長いようで、ケアマネジャー4名（伏見・小林・平井・柏木）、元気にたくましく北杜市全域を掛け回っています。

だんだん会さんには、日頃から「定期巡回てくてく24」さん、「地域看護センターあんあん」さん、そして「オレンジサロンわいわい」さんにも大変お世話になっております。

広い北杜市は地区によって地域力、家族力、生活スタイルなどに偏りがありますが、共通しているのは「できるだけ最期まで自宅で生活したい」という、利用者様の思いです。広域なだけにサービス事業所や必要なサービス内容・量が確保しにくい、行き届きにくいというデメリットがありますが、その不足をどう補ってその人らしい生活を送ることのお手伝いをしていくか。その一つが地域力の底上げをすることであり、社協に求められていることでもあると実感しています。

人間より鹿や猿の方が多い山の中であっても、そこが北杜市であればあったかいご東のケアマネは馳せ参じます！あんあん、てくてくの看護師さんや介護士さんも一緒に行って下さるはず。共に地域密着の事業所として、利用者様に寄り添っていければと思っています。